

## 平成30年度 いじめをなくす取組推進事業

## 【報告】 中学生意見交流会

発行：三重県教育委員会事務局生徒指導課

平成30年度いじめをなくす取組推進事業「中学生意見交流会」を開催し、いじめのない学校づくりのために自分たちができること等について話し合い、弁護士の先生からの助言もいただきながら、「私たちの行動宣言」を取りまとめました。

- ・平成30年8月27日(月) 紀北町 4校35名参加
- ・平成30年8月29日(水) 桑名市 10校20名参加
- ・平成30年9月27日(木) 伊賀市 10校20名参加予定
- ・平成30年12月6日(木) 南伊勢町 2校52名参加予定

## 当日の様子

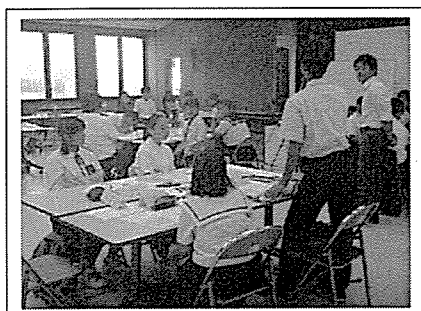
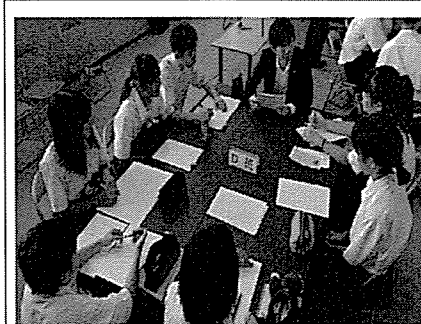
## 県立桑名西高校演劇部による劇

生徒会がいじめの啓発劇を作成することになり、「いじめとはどういうものなのか」について考えるところから劇は始まります。生徒会が実施したアンケートを見ているうちに、「あれって、いじめなんだ」といった場面が思い出されます。そして、あるアンケートの内容がきっかけとなって、「怖いのは、いじめる人間。でも、いじめを解決できるのも人間。」であることに気付きました。



## グループ討議

各グループに弁護士がファシリテーターとして入り、「休み時間にどの友だちと喋るのかを自由に決めてよいのか」について話し合ったあと、いじめられる側の立場に立って「そのことによって生じる問題」について考えました。そして、「誰がどのように行動すれば、いじめをなくせるか。たった一つルールをつくとすればどのようなルールを作るか」等について考えた後、いじめのない学校づくりのため、共通の目標となる「私たちの行動宣言」をグループごとにとりまとめました。



## 発表「私たちの行動宣言」

「私たちの行動宣言」について考える際、「みんなが行動宣言に沿った行動をするためにどう取り組むか」についても話し合いました。グループ発表の時には、「行動宣言」とともに、そのことについても発表しました。

## 『 私 たち の 行 動 宣 言 』

中学生意見交流会では、「行動宣言」について考える前に、「行動宣言の意味」について考えました。具体的には、「〇〇しなければならない」ではなく、「〇〇を目指しましょう」といったようにみんなが能動的に行動することにつながるようなものが望ましいということを確認しました。その後、各グループ毎に問題解決のための行動宣言として「私たちの行動宣言」をまとめました。以下が主な「私たちの行動宣言」です。

### 【紀北町】

- ・いろいろな人の気持ちを考える。
- ・私たちはいじめをせず、先生に報告するなどの方法をもって、いじめを止め、そしていじめを無くすための努力を惜しまない。
- ・みんなで話題を決めて、みんなで話す。
- ・いろいろな視点から物事を考える。
- ・目を見て挨拶をする。向かい合うときは、いつも笑顔。

### 【桑名市】

- ・小さなことでもよい。一人一人を尊重し、相手の気持ちをみんなと一緒に考えよう。
- ・どんなことでも自分から積極的に。
- ・いじめを見つけるために、勇気を出して、笑顔であいさつをしよう。
- ・ありのままの自分を出し、周りの個性を受け入れる。
- ・全員としゃべろう。

両市町とも、この意見交流会で話し合ったことを持ち帰り、2学期以降の各校の取組につなげていきます。

### 参加した中校生の主な感想

- ・いじめをなくすために、今日考えた行動宣言に沿って学校生活を送り、自分の友だちにも広げていきたい。
- ・学校全体がもっと明るくなって、全学年がわいわいできるような学校になったらいいと思う。
- ・小さなことでもいい。自分自身のできることを考えていきたい。

### 県立桑名西高校演劇部生徒の感想

- ・出身中学校が違う私たちの多様な意見があって、いろいろな視点で考えることができました。
- ・話し合いの中で、ありふれている日常にいじめが潜んでいるのだと感じました。
- ・いじめっ子を演じていて、悪口を言うのは自分の気持ちを満足させるような気持ちなのかなと感じました。
- ・いじめっこ、いじめられっこ、それぞれの感情を丁寧に伝えられたらと思い演じました。